

社会資本総合整備計画 中間評価書

平成31年01月18日

計画の名称	高槻市 とともに支え合う安全・安心なまちづくり（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	高槻市												
計画の目標	下水道整備を行い、「安全で安心な暮らしの実現」を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4,529	A	4,471	B	0	C	58	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	1.28	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	下水道による浸水対策達成率を46.0%(H27)から52.3%(H31)に増加。 下水道による浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（4,548.49ha）	46%	48%	52%
2	超過降雨対策実施率を0.0%(H27)から100.0%(H31)に増加。 超過降雨対策実施率 超過降雨対策完了済み箇所（箇所） / 超過降雨対策を実施すべき箇所（2箇所）	0%	41%	100%
3	重要な管渠の耐震対策実施率を0.0%(H27)から100.0%(H31)に増加。 重要な管渠の耐震対策実施率 重要な管渠のうち、耐震化が行われている延長（km） / 重要な管渠の延長（1.9km）	0%	54%	100%
4	長寿命化対策実施率を0.0%(H27)から100.0%(H31)に増加。 長寿命化対策の実施率 長寿命化対策完了済み箇所（箇所） / 長寿命化対策を実施すべき箇所（828箇所）	0%	60%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
定量的指標の現況値及び目標値（小数点以下整理前）： 1 当初46.0% 中間48.8% 最終52.3% 2 当初0% 中間41.4% 最終100% 3 当初0% 中間54.9% 最終100% 4 当初0% 中間60.5% 最終100%								

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	管渠(雨水)	新設	高槻排水区 人孔接続管 整備 浸水対策	6箇所 雨水排水施設	高槻市						143	-	
A07-002	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	管渠(雨水)	新設	摂津排水区 人孔接続管 整備 浸水対策	2箇所 雨水排水施設	高槻市							0	-	
A07-003	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	管渠(合流)	新設	前島排水区 浸水被害軽 減施設の設計・建設	浸水被害軽減施設	高槻市							2,477	策定済	
	下水道浸水被害軽減総合計画																		
A07-004	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	管渠(合流)	新設	高槻排水区他 浸水被害 軽減施設の計画策定	計画策定	高槻市							57	未策定	
	下水道浸水被害軽減総合計画																		
A07-005	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	管渠(雨水)	新設	高槻排水区他 浸水被害 軽減施設の設計・建設	浸水被害軽減施設	高槻市							285	策定済	
	下水道浸水被害軽減総合計画																		
A07-006	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	管渠(雨水)	新設	高槻排水区他 浸水被害 軽減施設の設計・建設	浸水被害軽減施設	高槻市							0	未策定	
	下水道浸水被害軽減総合計画																		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	管渠(汚水)	改築	下水道総合地震対策事業の計画策定	計画策定	高槻市						0	未策定	
		下水道総合地震対策計画																	
	A07-008	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	管渠(合流)	改築	下水道総合地震対策事業の設計・建設	L=1.9km	高槻市						751	策定済	
		下水道総合地震対策計画																	
	A07-009	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	管渠(合流)	改築	ストックマネジメントの施設調査診断、計画策定	施設調査診断、計画策定	高槻市						102	未策定	
		下水道ストックマネジメント計画																	
	A07-010	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	管渠(合流)	改築	長寿命化の施設調査診断	施設調査診断	高槻市						15	-	
	A07-011	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	管渠(合流)	改築	長寿命化のマンホールの蓋替え	828箇所	高槻市						91	策定済	
		下水道長寿命化計画																	
	A07-012	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	ポンプ場	改築	長寿命化の下水道施設の更新	ポンプ場等下水道施設の更新	高槻市						550	策定済	
		下水道長寿命化計画																	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-013	下水道	一般	高槻市	直接	高槻市	管渠(合流)	改築	ストックマネジメント計画に基づく改築	実施設計、改築	高槻市						0		未策定
下水道ストックマネジメント計画																			
											小計						4,471		
											合計						4,471		

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
高槻市社会資本総合整備計画評価委員会において実施	平成31年1月
	公表の方法
	高槻市のホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・計画降雨対策に基づく雨水取口の整備により、浸水リスクが低減している。 ・過去に浸水被害のあった地域における超過降雨対策の実施により、大雨時における市民の安全・安心を守るまちづくりに寄与している。 ・超過降雨対策として雨水貯留施設を整備するに合わせ、地元住民や小中学生を対象とした現場見学会等を開催し、安全・安心に対する意識を高めている。 ・重要な管きよの耐震化を進めた結果、耐震対策実施個所において、大阪府北部地震による被害がなかった。 ・長寿命化対策（マンホールの蓋替え）により、機能不足が解消され、市民の安全・安心の確保に寄与している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道施設（ポンプ場）の更新により、施設の長寿命化が図られ、市民の安全・安心に寄与している。 ・効果促進事業で内水ハザードマップを作成した後、内水・外水・土砂災害を一元化した冊子型の「高槻市水害・土砂災害ハザードマップ」を作成・各戸配布するとともに、出前講座等で周知・啓発を積極的に実施した結果、市民の水害に対する意識が向上している。 ・効果促進事業で流出抑制施設の整備を進めるなど、更なる浸水被害の軽減に努めている。
特記事項（今後の方針等）	
「安全で安心な暮らしの実現」を目指し、引き続き各種事業を推進していく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	中間目標値	48%	【（少数点以下整理前）中間目標値：48.8% 中間実績値：47.3%】昨今の気象状況を鑑み、超過降雨対策を重点的に実施したことや、工事箇所の進捗に遅れがみられたことなどから、現時点で目標値に達していないが、事業は確実に進捗している。
	中間実績値	47%	
2	中間目標値	41%	【（少数点以下整理前）中間目標値：41.4% 中間実績値：50.0%】超過降雨対策工事（雨水貯留施設）が順調に進捗したため。
	中間実績値	50%	
3	中間目標値	54%	【（少数点以下整理前）中間目標値：54.9% 中間実績値：46.0%】耐震対策実施対象路線の一部において、施工方法の検討等に時間を要したため。
	中間実績値	46%	
4	中間目標値	60%	【（少数点以下整理前）中間目標値：60.5% 中間実績値：78.2%】長寿命化対策工事（マンホールの蓋替え）が順調に推移したため。
	中間実績値	78%	